

インターンシップ促進事業業務委託企画提案評価基準表（合計１００点）

評価項目	提案内容（記載事項）	評価の視点	配点
１．本業務への取組（２０点）			
１）業務知識・実績	●業務知識・実績 ・類似する業務の実績 ⇒過去３年以内の類似業務実績（発注者名、業務内容、受託期間）を３件程度記載すること（行政機関との契約があれば優先して記載） ●実施方針 ・実施体制（業務に関わる人員配置、役割分担、連絡体制） ⇒記載された人員の過去の業務実績を記載すること ・実施計画（全体スケジュール） ⇒おおむね各月の上旬・中旬・下旬の単位で項目ごとに記載 ●見積書 ・業務遂行にかかる費用を内訳も含めて記載すること ※実施要領で提示した契約上限額を超えている場合は無効とする	過去に業務実績があり、本業務に必要な知見、専門知識、ノウハウを有している事業者であるか。	10点
２）実施体制		経験や実績に基づく適切な体制・人員配置がされているか。また、市との連絡・調整が速やかに行える体制か。業務が滞りなく遂行できるスケジュールとなっているか。	10点
２．本業務の提案内容（８０点）			
３）就業体験におけるプログラムの設計	・就業体験プログラムの流れ - 時間配分を含めた、プログラムのモデルコース ・就業体験全体のコンセプト、コース設計の考え方、期待効果等	・参加対象の学生の企業理解、職業意識の醸成に効果的な内容であるか。 ・他の就業体験との差別化の視点など、参加者の興味や関心を引き付け、参加を促す内容であるか。	20点
４）学生・大学等への周知	・学生の募集にかかる周知方法、大学等との連携等	・参加対象の学生にアプローチする効果的な周知方法となっているか。 ・大学等との効果的な連携手法が具体的に検討されているか。	10点
５）企業開拓・企業への支援	・受入企業の開拓方法、プログラム作成にかかる企業への支援方法等	・受入企業にアプローチする効果的な周知方法となっているか。 ・学生受入の経験やノウハウのない企業でも参加しやすい工夫がなされているか。	15点
６）事後研修	・事後研修の内容と講師の想定（講師に記載されたものの過去の実績を記載すること）	・参加対象の学生の企業理解、職業意識の醸成や企業の受入ノウハウ養成に効果的な内容であるか。	5点
７）フォローアップ体制	・実施期間中の参加者、企業双方へのフォローアップ方法	・就業体験が安全かつ、円滑に進行するための参加者・企業双方への効果的なフォローアップ方法が具体的に検討されているか。	10点
８）交流会に関する内容の提案	・効果が具現化された交流会の内容	・参加対象の学生と企業の相互理解を深めることができる効果的な内容であるか。 ・参加者のニーズを的確に捉えた内容が検討されているか。	5点
９）関係機関等との連携	・産業支援機関や就労支援機関、その他本市が行う他事業との連携方法	・本事業目的の達成に向け、相乗効果が期待される関係機関や事業との連携方法が検討されているか。	5点
10）独自の企画・提案	・独自の企画提案等	・本市の現状、課題等を的確に捉え、独自性の高い提案がされているか。	10点
評価の合計			100点